

令和7年度第6回武蔵野市農業振興基本計画策定委員会 議事録

- 1 日時 令和8年1月14日（水曜日）午後2時
- 2 場所 武蔵野市役所813会議室
- 3 議事
 - 1 パブリックコメント（意見公募手続）の結果とその対応について
 - 2 計画案について
 - 3 今後の進め方について
 - 4 その他について
- 4 出席委員

後藤 幸治	佐々木憲一
相原 宏次	榎本吉恭
淵野雄二郎	中村健二
森田茂紀	平野優美
八島新平	田川良太
- 5 欠席委員 な し
- 6 委員以外の出席者 な し

7 事務に従事した職員

事務局 小池鉄哉
 合田宇宏
 助川瑞樹
 宮内香奈
 浅賀恵津子

(1) パブリックコメント（意見公募手続）の結果とその対応について	
	事務局より、資料「農業振興基本計画策定に係るパブリックコメントの概要」「農業振興基本計画策定に係る市議会総務委員からの質問等概要」「農業振興基本計画策定に係る農業委員会委員意見の概要」について説明を行った。
委員長	●●委員から、詳細なコメントをいただいている。ご説明いただきたい。
	●●委員より、自身が作成した「パブリックコメントに対するコメント」等の資料について、説明があった。また文章構成を揃えるべきであり、市の見解を先に記載し、その上で対応策を記載した方がよいという意見が示された。 また●●委員より、自身が作成した「武蔵野市農業振興基本計画（案）に対する提言」について説明があった。
委員長	「農業振興基本計画策定に係るパブリックコメントの概要」について、何か御意見はあるか。
副委員長	No.1の相続税に関する御意見について、「連携して取り組んでいきます」という記載がされているが、本当はもう少し明確に記載ができるとよいと思った。 また、No.2の御意見については、市の中で農業をやっていく上では市民の方の応援というのはとても大事である。本業をやりながらも、そういった御理解いただける場をつくるのが大事だと個人的には思っている。 またNo.4とNo.5の気候変動と害虫等の部分について、チュウゴクアミガサハゴロモについては、東京都内全域の農業委員会でも話がよく出ている。街路関係を管理している課との間で話はしているか。

事務局	現状はしていないが、情報共有はさせていただきたいと思っているところである。
副委員長	我々農家が防除するだけでなく、市として防疫をやらなければいけないのではないかと思う。
委員	<p>東京都農業会議でも喫緊の課題としてやっているが、農家が悪者になってしまう可能性がある。東京都農林総合研究センターや農業試験場等に引き続き強く申し入れていくが、計画に記載をしておいて、市としても横断的な対応を図ることが必要だと思う。</p> <p>また、記載されているページ番号を記載するのみではなく、該当の内容が分かる文言を入れるべきである。</p>
事務局	<p>武蔵野市内で街路樹があるような大きな道路は都道であるので、都にも道路管理課などを通じて状況を伝え、振興事務所とも連携し、働きかけが必要だと思う。</p> <p>また記載の仕方の工夫は検討させていただければと思う。</p>
委員	<p>チュウゴクアミガサハゴロモについて、東京都としても対応を進めているものの、すべがないというのが正直なところで、物理的に取って捨てる以外にはない。そのため、「連携して対応してまいります」というように記載しておいていただけるとよいと思う。</p> <p>No.4について、今回計画に盛り込む大きな意義があり、回答についてもおおむねこれでよいと思うが、「公的補償が適用となるケースがあります」というのは何を指しているのか。農業保険のイメージなのか。全員が何かの補償の対象となるような書き方に見えるため、工夫が必要かと思う。大災害があったときに、国が突発的に災害認定する事業もあるが。</p>
事務局	<p>激甚的な災害が起きたときの、国が音頭を取ってやる支援をイメージしている。</p> <p>これまでの事例として、国が音頭を取ってやった支援を使用して設備の再構築を行った例もあった。しかし確かに</p>

	<p>誤解を生む可能性があるため、「公的な支援が受けられる可能性がある」というように、なるべく誤解のないように記載を改めたいと思っている。</p>
委員	<p>No.5に戻るが、チュウゴクアミガサハゴロモについて、 ●●委員からも発言があったように、農業から出ているイメージというのは好ましくない。街路樹が関係するのであれば、そのような部署などと連携して、農産品だけではないことをアピールする必要があると思う。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
委員長	<p>農業委員会の意見については、どのような位置づけか。</p>
事務局	<p>計画の最終案を改めて農業委員会に提示し、意見を募るため、現段階では参考としてご覧いただければと考えている。パブリックコメントのNo.9までご覧いただき、御意見が出尽くした後に他の資料についても御意見等をいただければと思う。</p>
委員長	<p>それでは、No.9までの記載に御意見はあるか。</p>
委員	<p>No.9の「武蔵野市ブランド」について「費用対効果の低いことが十分予想される」というのが●●委員の御意見だが、私は、武蔵野市ブランドの確立はすべきという意見である。ブランドというのは、費用をかけたからと言って確立できるとは限らない。継続することによって価値は生み出されていくと思う。例えば「住みたいまち」というと必ず吉祥寺が出てくるが、代表されるまちとして吉祥寺が出てくることによって、非常にブランド価値の高い市になっていると思う。</p> <p>志の下に一緒に動いていくというのがブランドであるため、継続することによって、武蔵野市で就農したい人、農産物を購入したい人が出てくると思う。</p>
委員長	<p>●●委員には、学校給食や食農教育の問題についても、丁寧なコメントをいただいている。</p>

委員	<p>学校給食の問題は非常に重要であり、武蔵野市としてアピールできる点だと思うが、なぜか数字の議論になってしまう。結局100%でない限り、もっと上げなければというところに囚われてしまう。</p> <p>地産地消を進めていくというのが目的であり、その代表として学校給食がある。計画である以上、数値目標を立てなければいけないということはよく分かるが、今度はその数字にとらわれ過ぎると、何か本来の目標を見失うのではないかと危惧している。</p> <p>ブランド化の件は、全面否定するつもりはないが、一方でこの対応案は強過ぎると思う。できるだけ武蔵野市で消費する農産物を供給していく方向性がよいと思う。</p> <p>予算とマンパワーには限界があるため、よくその優先順位を考え、最終目的は何だということを忘れてはいけないと思い、少数意見としてネガティブなことを申し上げた。</p>
事務局	<p>ブランド化のところについては、高付加価値化による農家の収益向上の1つの手助けになれば、と事務局は考えている。</p> <p>記載の仕方やそのトーンについては、改めて事務局の中でも検討させていただきたい。</p>
委員長	<p>ほかに何か御意見はあるか。対策案の詳細な記載についてはこれまでの議論踏まえてもう一回検討するが、内容としてはこれで御了解いただくということでよいか。</p>
事務局	<p>今後修正した事務局の案を正副委員長にお諮りする。御了承いただけるのであれば、予備日の2月10日は対面では開催せずに、正副委員長一任で進めることも我々は想定している。</p>
委員	<p>ブランドでなくても、安全で安心な野菜がすぐに手に入るという状況があれば、非常に市民の方々にとって魅力あることだと思う。野菜の即売所を充実していくことや、可能であれば数を増やしていくことに注力したほうがよいのではないかという気がしている。</p> <p>最近では、武蔵境の駅前に野菜の販売所ができて、売れ行きを見ると、日々に必要な食材としてのニーズはあると思</p>

	<p>われる。そのようなところに、地道に伝えていくようなことをしたほうがよいと思う。</p>
委員長	<p>各資料の取り扱いについて改めて事務局に扱いを説明願いたい。</p>
事務局	<p>「農業振興基本計画策定に係るパブリックコメントの概要」はこの委員会で対応案を整理する。</p> <p>「農業振興基本計画策定に係る市議会総務委員からの質問等概要」は、事務局がもう少し詳細な部分を記載して改めて委員会に展開する。</p> <p>「農業振興基本計画策定に係る農業委員会委員意見の概要」は、参考資料という形で皆様にお配りさせていただいた。</p> <p>議員からの質問については、議論の様子はインターネット中継されており、そのアーカイブも武蔵野市議会のホームページには掲載されている。議事録も全文録という形で掲載される。今日ここでお示ししているのはかなり抜粋版であるため、インターネット中継か議事録を御確認いただければ、より詳細な感じがお分かりになると思う。</p>
委員	<p>努力が足りないというような記載があったので、少し残念な気持ちになった。</p>
副委員長	<p>No.4については、確かに農地を増やすという項目は、計画案の中にもそこまで記載はないと思う。生産緑地に指定し、納税猶予を目指すことはできるので、計画上でもそのようなやり方を記載しないといけないと思う。</p>
事務局	<p>資料はメモ書き程度の抜粋であるが、市議会の意見は、基本的には農業を応援する趣旨のものとなっていることを申し添える。</p> <p>先ほど御指摘のあった農地を減らさない努力の部分については、宅地を農地に変える農地創出の取組についても御答弁させていただいたところである。実際に計画案の17ページにも、「宅地の一部から生産緑地を創出する取組も進める」と書いている。</p>

委員長	<p>総務委員会からの質問について、皆さんの意見もここで伺いしていくということですね。</p>
事務局	<p>そうですね。</p> <p>項番の1の部分について、「農業体験機会の提供」や「消費者との交流の推進」が重点施策になったほうが「市民が愛する農業の推進」になるのではないかという御意見をいただいた。</p> <p>重点としなかった施策についても積極的に取り組む点に変わりはないということを答弁では申し上げたが、これらの項目を追加するの可否か、あるいはまたほかの考え方があるか、お諮りしたい。</p>
委員長	<p>皆さんの意見をお伺いしたい。</p>
事務局	<p>計画案の16ページに体系図、「第5章 農業振興基本計画の体系」の中の「農業体験機会の提供／消費者との交流の推進」、これについて、重点施策にするべきではないかと言われている。これについて御意見をいただきたい。</p>
委員	<p>農業体験は、武蔵野市で重要だと思う。農業体験機会の提供というのは、農家にとってはボランティアでやるのが非常に多い。また市民農園は農家が不在だが、農業体験農園のようなものは、農家の収入にも大きくつながる。ひとつの収益源となり、経営の一つの手段となるようにしたいため、重点施策としてよいと考える。</p>
委員長	<p>武蔵野市として、消費者と農家の関係性がどのような形で形づくられて、それが地域全体の一つのシステムになるかを示す大きな目標だと思う。</p>
副委員長	<p>市民の方の体験機会やコミュニケーションはとても大事だと思っているのだが、その反面、現在も各農家で学校の受入れ等に取り組んでおり、負担がさらに増してしまうことが、どうしても農家としては気になる。一方で情報発信は大切であると痛感しているため、自分の中では迷っている。</p> <p>このような計画の中では、市民の方との交流を重視する</p>

	<p>ことは必要だと思う。ただし、それが負担になってしまっ てはいけないということは覚えておいていただきたい。</p>
委員長	<p>ほかに意見、コメントがあれば。</p>
委員	<p>何を採用して何を落とすかということは非常に難しい が、現状不足しており、努力することが大きな効果を生む かどうか判断基準になるのではないかと思う。</p> <p>その点、農家見学会は、十分にニーズに対応ができてい るレベルに近いと思っている。</p> <p>また市民農園については、様々な問題があり見直しをし ているところであって、そこをあまり前面に出し過ぎてし まうのは少し危ないかという気もしている。</p>
委員	<p>●●委員がおっしゃるとおり、施策は全部重要だからこ こに書いてあるため、どれを大事にしたいかというところ が肝なのだと思う。市民農園と体験農園についての整理が まだついていない中、いきなり重点施策とするよりは、5 年の中間見直しのタイミングまでに整理をつけるのも1つ のやり方かと思う。</p> <p>「市民が愛する農業の推進」の中で、歴史・文化につい ては農家や消費者の思いがかなり大きく、重点施策となっ た。そのため、個人的な意見としては、今回の重点施策は 2つとし、体験農園や市民は整理が必要な大事な取組とし て引き続き進めながら、重点施策までには入れなくてよい と思う。</p>
委員長	<p>市民農園と体験農園の違いというのは、この計画の中 でも明示されてきている。</p>
委員	<p>私も市議会の総務委員会に出ていたが、確かに重点項目 というのは、どこに何個なければいけないというもので なく、逆に言うと、全部重点だから並んでいるものである。</p> <p>ただ、確かに「市民が愛する農業の推進」の中で、市民 に農業を知ってもらうことの重要性は、今回の10年の計画 の中でも大きいと思い、重点にすべきだと思った。</p> <p>ただ、確かにそれに付随した施策について、明確に計画</p>

	<p>を立てているのであれば重点と言い切れるが、言い切れない部分もあり、とても悩んでいる。しかし、大きな見直しのタイミングであり、「市民が愛する農業」というものに直結する話であるため、個人的には重点に格上げをしたいと思っている。</p>
委員	<p>本当に10年以内に何か行動に移さなければ農家は減少してしまう、ということが前提にある中で、順番としてはどれが早く取り組めて、効果的なのかを考えることが必要だと思う。</p> <p>何から一番先にやっていくか、この計画に基づいて選択をしていただくということが重要であり、農業委員会やJAとも一緒に連携してやらないといけないと思う。</p>
委員長	<p>「市民に愛される」という言い方は新しいフレーズで、市民が積極的に関わっていく中、これを重点として掲げるというのは非常に大事なことではないかと思う。目標値を掲げるというのはなかなか難しいかもしれないが。</p> <p>対応策のところについては、他に御意見がなければ、事務局へお願いするということになる。</p>
事務局	<p>いただいた御意見をまた検討させていただいて、こちらの考えを正副委員長へお伝えさせていただき、そこで決定という形でのよろしいか。</p> <p>それ以外の部分についても、御意見がもしあれば頂戴し、なければ次の計画案の全体のお話に移行していきたいと思っている。</p>
委員長	<p>この件については、先ほどの議論にかなりの部分、内容が含まれていると思う。事務局で御検討いただいて、御意見をまたお返しいただくという形になると思う。</p>
2 計画案について	
	<p>事務局から、計画案と用語解説についての説明を行った。</p>
委員	<p>2 ページについて、「食料・農業・農村計画」ではなく、農村の後に「基本」を入れるのが正しい。</p>

委員	<p>2点ある。書き出しが、「援農ボランティアとは」や「親元就農は」というように異なっているため、統一しておいたほうがよいのではないかと思った。</p> <p>それから2点目は、13番、14番、51番の学校給食の目標の記載について、分母と分子が逆になっていると思う。</p>
委員	<p>11ページ目の一番下にある、直売所マップの写真について、8ページ目に直売所マップの説明が書いてあるため、できれば8ページ目もしくは9ページ目にあったほうよいと感じた。</p>
事務局	<p>今いただいた御意見については、ぜひ反映させていきたい。</p> <p>もし他にもあれば、1週間後の1月21日の水曜日までに事務局にお知らせいただければと思う。</p>
委員	<p>直売所マップについて、2次元コードをつけて、スマートフォン等でアクセスできるような形があるとよいと思う。</p>
事務局	<p>現行の農業振興基本計画では、表紙の裏にホームページの2次元コードをつけている。こういった形にするか、本文中のところに記載するのか、検討の上、これも情報発信として掲載してまいりたい。</p>
委員	<p>用語集について、29番の東京都農業振興基本方針、あと36番の認定新規就農者のところに、「農業経営基盤強化促進法に基づく」というのを入れてどうか。認定農業者のところには「農業経営基盤強化促進法に基づいて」という言葉が入っているので、同じ法律に基づくものとして、入れておいたらよいと思う。</p>
3 今後の進め方について	
事務局	<p>今回の流れとしては、2月10日に再度議論するか、この委員会で正副委員長に一任をした上で、正副委員長と事務局で進めるという2択である。</p> <p>2月19日（正しくは2月16日）に正副委員長がこの委員</p>

	<p>会を代表して市長に答申するという流れになっている。そこで一旦この委員会の役目は終了となる。</p> <p>2月10日の予備日を使ってもう一度ここで議論するか、正副委員長一任で進めてよろしいか、御意見をいただければと思う。</p>
委員長	<p>もう一回開催するのか、委員会の議事はこれで閉じるという提案が事務局から出されている。</p>
委員	<p>事務局で案を整えた後、委員長、副委員長と相談させていただきながら最終的な形にまとめ、その最終的にまとめたものは各委員にはどのタイミングでどのようにお示しするのか確認したい。</p>
事務局	<p>2月10日頃に、正副委員長にお諮りし、訂正だが答申が2月16日である。2月10日以降、速やかに委員の皆様へ郵送にて、答申する内容を提供させていただきたいと考えている。</p>
委員	<p>正副委員長でまとめていただいた方針案を各委員の皆様にもう一度お目通しいただいて、確実なものを最終的に市長への答申という形で出させていただく段取りが組み込まれている。その点を御理解いただいた上で、今日で委員会を終了するのか、次にもう一回やるのかということをお判断いただければと思う。</p>
委員長	<p>もし言い足りないことや修正項目があれば、事務局へ寄せていただくということで、委員会は、本日で閉じるということではどうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。正副委員長と後で打合せをさせていただいき、日程を調整させていただいた上で、最終案の確定をどこで協議するか決めさせていただければと思う。</p> <p>議事録については答申の2月の中下旬頃までには用意して、皆さんに御確認いただきたい。</p>
委員長	<p>今日予定した審議事項は全て終わったということであ</p>

	<p>る。これで第6回の委員会は終了としたい。</p>
事務局	<p>第6回まで御参加いただき、本当にありがとうございました。</p> <p>農業振興基本計画は、10年ものの計画である。大変大きなものと我々も認識しており、農地の減少等、様々な大きな課題がある中、どのようにアプローチしていくか、事務局の中でも本当に大きな課題であった。</p> <p>そのような中でも、皆様には積極的に御発言をいただき、内容の濃い議論が各回できた。</p> <p>ここからがこの10年の始まりである。どのように実現していくか、武蔵野市農業委員会ともしっかり連携しながら武蔵野市の取組を進めていきたい。また、東京都や国への働きかけ、JAとの連携なども密に取らせていただきながら、少しでも前に進められるように、この計画に基づいて様々な施策を検討していきたい。</p> <p>本当に第6回まで本委員会に御参加いただきまして、また貴重な御意見を賜り、ありがとうございました。</p>
委員長	<p>第3期の計画から関わっているが、今回はパブリックコメントや皆様の様々な御意見が反映された基本計画になってきたと思う。これが第一歩で、次の5年、10年と、市民に愛される農業、あるいは市民とともに歩む農業の第一歩になるような基本計画ではないかと思っている。期待している。</p> <p>本日まで6回の委員会、ありがとうございました。</p>

閉会時刻 午後4時11分